

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	020 点検マニュアルの運用					
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費			担当部課	財務部公共施設マネジメント推進室	
市長公約				係名		
戦略プラン	II-4	1	1	点検マニュアルの運用による着実な点検及	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～				事業期間	毎年度
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設の長寿命化による財政負担を軽減・平準化する。
概要 (取組内容)	法定点検や「公共施設自主点検マニュアル」による点検を実施し、劣化の兆候や不具合箇所が判明した場合は、早期の段階で修繕や改修を行い、大規模修繕を未然に防止する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	5,125	5,100	5,100	5,100	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	修繕未実施期間 (年)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	22.0	21.0	17.0	13.0	9.0	5.0
実績	22.0	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-4-①公共施設・インフラの効果的な維持管理の推進) 自主点検実施により判明した予防保全が必要な不具合箇所に対する修繕未実施期間を短縮する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	「公共施設マネジメントシステム」を導入し、各公共施設が保有する「つくば市公共施設自主点検マニュアル」による自主点検結果や法定点検結果に基づき、修繕工事履歴などの一元管理を行った。	
成果	各種点検結果や修繕工事履歴及び維持管理費などを「公共施設マネジメントシステム」に入力した結果、各公共施設の状況について全庁的に情報の共有化が図られた。	
課題	業務	「公共施設マネジメントシステム」が導入され、自主点検による不具合箇所の点検記録が職員間で共有化されるようになったが、システム運用開始から4か月足らずと短いため、周知徹底がされていない面もあることから、システム活用の周知を図り、予防保全による対応をしていくことが重要である。
	組織、予算等	「公共施設マネジメントシステム」により一元管理された自主点検や法定点検結果による不具合箇所について、対処する優先順位(同じ施設群内)をシステムにより客観的に分析し、限りある予算内で対応する必要がある。
改善目標	引き続き、「つくば市公共施設自主点検マニュアル」に基づく点検実施を周知し、「公共施設マネジメントシステム」の活用法について周知を行い、各公共施設の情報の共有化を図るとともに、施設所管課が修繕等も含めた効率的な維持管理を行えるような情報分析結果などを提供していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	022 市民ニーズに合った利用促進策の検討					
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費			担当部課	財務部公共施設マネジメント推進室	
市長公約				係名		
戦略プラン	II-4	2	1	市民ニーズに合った利用促進策の検討	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～			事業期間	毎年度	
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市職員
目的	快適で魅力ある公共施設を実現する。
概要 (取組内容)	各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、提供しているサービスが市民ニーズに即しているか分析を行うとともに、環境への配慮、防災機能の強化、ユニバーサルデザインの導入等の施設機能の充実を推進する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,035	5,100	5,125	5,125	5,125	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	施設稼働率（平均）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	37.0	37.7	38.5	39.2	40.0	40.7
	実績	37.0	34.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（II-4-②保有資産の有効活動の推進）各施設の平均稼働率 ※R3年度の実績値は9月頃分かる予定。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	施設所管課が「個別施設計画」を策定する際には、「個別施設計画策定ガイドライン」にある「ユニバーサルデザイン化」、「省エネ化」等の様々な市民ニーズに配慮した計画を策定するように周知を図った。	
成果	施設稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大による施設利用者の減少により低下した。一方で、「ユニバーサルデザイン化」、「省エネ化」等の様々な市民ニーズに配慮した計画が1計画策定され、施設利用向上に向けた取組みが進んだ。	
課題	業務	各施設の類型ごとに、設置根拠、目的、提供するサービスなどが異なるので、利用度が高まる一律的な利用促進策を定めたとしても、必ずしも利用者数の増加や満足度の向上には繋がらないので、各施設ごとの状況分析が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	施設所管課に対して、「個別施設計画」を策定する際には、利用者アンケートを実施するなどの各施設の利用者ニーズを的確に把握し、施設機能の充実を図るように検討することを働きかける。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	031 施設整備事業の複合化・集約化指針の作成					
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費			担当部課	財務部公共施設マネジメント推進室	
市長公約				係名		
戦略プラン	II-4	3	1	施設の複合化・集約化指針の作成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～			事業期間	毎年度	
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設の最適化による経営の効率化
概要 (取組内容)	各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、各施設のあり方や必要性について、人口動向や社会情勢の変化等を踏まえ、市民ニーズや費用対効果などの面から総合的に評価を行い、必要なサービスや施設機能を確保しつつ、集約化・複合化による施設整備を推進する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	5,100	5,125	5,125	5,125	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	複合化・集約化の方針を含む個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-4-③保有資産の適正化) 各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」のうち、複合化・集約化の方針を含む計画の数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	施設所管課が「個別施設計画」を策定する際には、「個別施設計画策定ガイドライン」に明記してあるように、各公共施設の維持管理費の抑制対策の一つとして、施設数の適正化に向けた「機能転換・用途変更」、「複合化・集約化」、「廃止・撤去」等について検討するように周知を図った。	
成果	施設所管課が「個別施設計画」策定時に検討する事項であることから、「個別施設計画策定ガイドライン」を用いて、集約化・複合化を検討するように指導・助言を行った。	
課題	業務	市全体としては、人口増加の状況下であり、学校を初めとした公共施設が不足している現状において、将来の人口減少に備えて複合化・集約化による施設数抑制を検討することは困難な状況であり、地域に与える影響が大きく、地域住民の理解が重要であることから、慎重に検討する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	引き続き、各施設所管課が、「個別施設計画」を策定する際には、施設の特長、地域のニーズを考慮しながら検討するように、働きかける。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	121 公共施設マネジメント推進事業					
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費			担当部課	財務部公共施設マネジメント推進室	
市長公約	75			係名		
戦略プラン	Ⅱ-4	1	3	点検結果による劣化度・優先度の判定手法	新規・継続	継続
	Ⅱ-4	1	4	公共施設及びインフラに関する情報の集約	事業分類	自治事務（任意）
	Ⅱ-4	4	1	新技術等の現場実装の促進	事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～				事業期間	毎年度
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市職員
目的	公共施設の最適化による経営の効率化
概要 (取組内容)	「公共施設自主点検マニュアル」による点検結果について、施設の劣化度・優先度を判定する基準を策定し、予算要求の方策を構築する。施設やインフラの基礎情報、点検、修繕の履歴、利用状況、維持管理費などの情報を定期的に記録更新し、蓄積することで施設に関する情報を体系的に整理する。各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、新技術等の導入によるコスト低減や効率化を検討するよう推進する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	848	714	5,763	2,928	2,928	
	決算額	(千円)	700	525	5,428	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	700	525	5,428	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	20,398	5,100	5,159	5,153	5,153	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	19.33	0.00	14.00	11.25	11.25
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信、冊子（公共施設白書）の発行
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
	実績	5.0	9.0	11.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-4-①公共施設・インフラの効果的な維持管理の推進) 各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」の数					

2	指標名	先端技術等導入の方針を含む個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-4-④公共施設やインフラ管理への先端技術等の導入)各施設所管等が策定する「個別施設計画(長寿命化計画)」のうち、先端技術等導入の方針を含む計画の数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	「個別施設計画」が未策定の施設所管課に対して、「個別施設計画策定ガイドライン」を活用した「個別施設計画」策定のアドバイスを行った。	
成果	施設所管課の積極的な取り組みや「個別施設計画策定ガイドライン」を活用したアドバイスにより、今年度、2計画が策定され、つくば市が保有する全施設の延床面積の約8割分をカバーする計画が策定済である。	
課題	業務	老朽化が著しい消防施設、老人・高齢者施設をはじめとするいくつかの施設群について「個別施設計画」が未策定である。
	組織、予算等	人口増加による施設整備が進み、施設全体の再編再配置等の基本的な方向性が見定められない中、すべての施設を現状のまま保有し続けることを前提とした長寿命化に特化した計画づくりにならざるを得ず、長寿命化の財源確保が困難なことにより「個別施設計画」の策定が進んでいない。
改善目標	未策定の施設所管課に対して「個別施設計画策定ガイドライン」に基づくアドバイスを引き続き行う。また、今年度導入した「公共施設マネジメントシステム」による維持管理・利用状況等の情報の共有化や情報の分析結果を活用した策定のサポートを行っていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—